

授業科目 NO. 408 ウィメンズヘルス看護学方法論 I (看護援助論)

Women's Health Nursing I (Nursing Care)

授業の形態：講義

単位数(時間数)：2単位(30時間)

開講年次・学期：2年次・後期

必修・選択の別：必修

キーワード：マタニティサイクル、生理的特徴、健康の保持・増進、看護ケア、女性特有の健康問題

1 金沢医科大学看護学部の到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学修目標

1) 一般目標 (GIO)

マタニティサイクルにある対象の生理的特徴と経過を理解し、健康を保持・増進するための看護ケアおよびハイリスクと正常経過から逸脱した対象への看護について学修する。また、女性特有の健康問題への支援に必要な基本的知識について学修する。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) マタニティサイクルにある対象の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる。(①②)
- (2) 胎児・新生児の成長発達や胎外生活適応への過程を説明できる。(②)
- (3) マタニティサイクルにある対象の健康状態に影響を及ぼす要因を説明できる。(②)
- (4) マタニティサイクルにある対象のアセスメントおよびセルフケアを支える看護、異常時の看護について説明できる。(①②③)
- (5) 女性生殖器疾患の病態生理、検査、治療方法を理解し、求められる看護について説明できる。(②)

3 学修内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

評価項目	評価割合
定期試験成績	100%
レポート	%
授業態度	%
小テスト	%
合計	100%

(特記事項)

5 教育担当者

科目責任者：山崎 智里

准 教 授 山崎 智里 (母性看護学・助産学)

講 師 三反崎 宏美 (母性看護学・助産学)

6 教育担当者の実務経験

担当教員は看護師・助産師としての実務経験を有している。

7 教 科 書

- 1) 森恵美他 (著)：系統看護学講座 専門分野 母性看護学[2] 母性看護学各論、医学書院
- 2) 落合慈之 (監修)：婦人科・乳腺外科疾患ビジュアルブック、学研メディカル秀潤社

8 推 薦 参 考 書

- 1) 有森直子 (編)：母性看護学Ⅱ周産期各論 質の高い周産期ケアを追求するアセスメントスキルの習得、医歯薬出版
- 2) 小林康江他 (編)：ナーシング・グラフィカ 母性看護学 (2) 母性看護の実践、メディカ出版
- 3) 荒木奈緒他 (編)：ナーシング・グラフィカ 母性看護学 (3) 母性看護技術、メディカ出版
- 4) 水野克己：改訂第3版 よくわかる母乳育児、へるす出版
- 5) 横尾京子 (著)：新生児ベーシックケア、医学書院
- 6) 病気がみえる Vol.10 産科、Medic Media
- 7) 森恵美他 (著)：系統看護学講座 専門分野 母性看護学[1] 母性看護学概論、医学書院

9 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前学修・事後学修として計180分程度必要である。

- 1) 教科書・推薦参考書を十分に活用し、学修を深めること。また、下記の該当ページを読み、理解できない内容をノートに記載しておくこと。

1-3 回目の授業：教科書 1) 第3章 妊娠期における看護

4 回目の授業：教科書 1) 第3章 妊娠期における看護、第7章 I.妊娠の異常と看護

5・6 回目の授業：教科書 1) 第4章 分娩期における看護

7・8回目の授業：教科書 1) 第 4 章 分娩期における看護、第 7 章Ⅱ.分娩の異常と看護

9・10 回目の授業：教科書 1) 第 6 章 産褥期における看護

11 回目の授業：教科書 1) 第 6 章 産褥期における看護、第 7 章Ⅳ.産褥の異常と看護、Ⅴ.メンタルヘルスの問題をかかえる母親の支援

12・13 回目の授業：教科書 1) 第 5 章 新生児期における看護

14 回目の授業：教科書 1) 第 5 章 新生児期における看護、第 7 章Ⅲ.新生児の異常と看護

15 回目の授業：教科書 2) Part 2 婦人科疾患各論の理解

- 2) 公益社団法人 日本産科婦人科学会、公益社団法人 日本産婦人科医会(編)：産婦人科診療ガイドライン 産科編 2023 (https://www.jsog.or.jp/activity/pdf/gl_sanka_2023.pdf) にアクセスし、「Answer」の部分を一読しておくこと。重要箇所については授業にて紹介する。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

試験に関しては、質問をもとに解説を提示する。

11 履修上の注意事項

教科書と配布資料は毎回持参すること。

12 オフィスアワー等

時訪問可だが、事前に都合の確認をすることが望ましい。

山崎 E-mail : chisasa@kanazawa-med.ac.jp

三反崎 E-mail : mitasaki@kanazawa-med.ac.jp

13 その他

当科目は、助産師教育課程における「助産診断・技術学」の教育内容を含む。

第2学年

ウィメンズヘルス看護学方法論 I

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	10月01日(木)	2	講義	ガイダンス, 妊娠期の正常な経過とケア1		母性看護学・助産学	山崎准教授, 三反崎講師
後	2	10月08日(木)	2	講義	妊娠期の正常な経過とケア2		母性看護学・助産学	三反崎講師
後	3	10月15日(木)	2	講義	妊娠期の正常な経過とケア3		母性看護学・助産学	三反崎講師
後	4	10月15日(木)	3	講義	妊娠期の異常とケア		母性看護学・助産学	三反崎講師
後	5	10月22日(木)	3	講義	分娩期の正常な経過とケア1		母性看護学・助産学	山崎准教授
後	6	10月23日(金)	2	講義	分娩期の正常な経過とケア2		母性看護学・助産学	山崎准教授
後	7	11月05日(木)	2	講義	分娩期の異常とケア1		母性看護学・助産学	山崎准教授
後	8	11月26日(木)	2	講義	分娩期の異常とケア2		母性看護学・助産学	山崎准教授
後	9	12月03日(木)	2	講義	産褥期の正常な経過とケア1		母性看護学・助産学	山崎准教授
後	10	12月10日(木)	2	講義	産褥期の正常な経過とケア2		母性看護学・助産学	山崎准教授
後	11	12月17日(木)	2	講義	産褥期の異常とケア		母性看護学・助産学	山崎准教授
後	12	1月07日(木)	2	講義	新生児期の正常な経過とケア1		母性看護学・助産学	山崎准教授
後	13	1月14日(木)	2	講義	新生児期の正常な経過とケア2		母性看護学・助産学	山崎准教授
後	14	1月21日(木)	2	講義	新生児期の異常とケア		母性看護学・助産学	山崎准教授
後	15	1月28日(木)	2	講義	女性生殖器疾患の治療とケア		母性看護学・助産学	三反崎講師
後		2月04日(木)	3	試験	定期試験		母性看護学・助産学	山崎准教授